

第6回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度 第6回 理事会議事録

日時:2021年 6月7日(月) 19:00～

場所:尾道商工会議所301号室

(出席者)安楽城大作・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・島田昌広・山本恭平・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(オンライン出席)内海洋平・森川陵・大池慎三・高山敦好・中島裕一朗・岡本大輔

(欠席者)加度亮平・高橋建太・沼田剛志

(早退)なし

次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (ハイブリッド形式での開催のため割愛)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (ハイブリッド形式での開催のため割愛)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (ハイブリッド形式での開催のため割愛)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

緊急事態宣言下でハイブリッド形式での理事会開催となりました。

皆様、ご出席いただきましてありがとうございます。

最初に何点か報告をさせていただきます。

5月16日から広島県が緊急事態宣言下に入りまして、5月17日の5月例会と6月2日の合同委員会を中止にいたしました。

今後に関してですが、6月例会に関しても中止の判断をいたしました。

7月の合同委員会については、緊急事態宣言が終了することを見越して、開催する方向で考えておりますが、状況を注視したいと思います。

7月の交流例会に関しては、先月の正副理事会に上程はあげていただきましたが、現段階で協議することは難しいという話になり、中止という判断になりました。

結果的に5月、6月、7月の例会を中止とし、7月の合同委員会に関しては、状況を見て判断したいということになりましたので、よろしく願いいたします。

第6回理事会 議事録

もう1点報告ですが、尾道青年会議所として報告はしておりませんが、現役会員の中から1名がコロナウイルスに感染したと5月末に報告を受けました。

現在は回復されて、仕事の方にも復帰されていると伺っております。

感染経路は不明ということでしたが、幸い緊急事態宣言下で尾道青年会議所として集まりもなかったため、会として集団感染の疑いはありませんでした。

個別に会った方もおられたようですが、全員検査をして陰性であったと報告を受けております。

集まりがなかったこともあり、余計な混乱を生みたくなかったため事後報告となりました。

色々な情報が飛び交い、不安な思いをした方もおられたかもしれませんが、この件に関しては、これ以上感染が広がる事は無いと考えています。

報告事項は以上になります。

緊急事態宣言が発令されて半月の間色々と考えましたが、このままいくと活動が本格的に再開できるのは、8月の新入会員ガイダンスを経て、全体として集まるのは夏期講習からになるかと思えます。

8月以降は各委員会が対外事業を計画していると伺っております。

秋以降にどういう風に活動できるのかを考えていきたいと思えます。

特殊な状況の中、様々な判断を求められていくかと思えますが、その際に一番重要なのが「最初に決めた信念」からブレないようにすることです。

私は今年度「粋」というテーマを掲げました。

相手の気持ちや立場を踏まえた上で、どういう活動ができるか考えられる人が粋な人であると考えます。

今の状況下ではリスクの方が高いため活動を自粛しておりますが、「尾道を活気づけたい」という思いは変わりません。

それが我々に対してまちから求められていることだろうと思えます。

皆さんも仕事や家族がある中、平時には無いリスクを背負いながらの活動となり、難しい部分は多々あるかと思えますが、理事メンバーを中心に、今後どういう活動をしていくのか話し合い、考えていただきたいと思えます。

また、これはお願いになりますが、何か意見がありましたら言っていただけますと、私たちも何かを判断する際に参考にすることができます。

今回の理事会も、いつも通り国際ホテルで集まっての開催を考えておりましたが、意見を頂いたことで、ハイブリッド形式で開催することになりました。

私自身は、今後も尾道を盛り上げるためにできることを率先してやっていくつもりです。

それに対して何か意見があれば、直接でも、間接でも、意見を頂きたいと思えます。

リスクばかりを考えるのではなく、まちのリーダーとして尾道を盛り上げていくためにできることと、リスクのバランスを取りながら活動していったい貫きたいと思います。
以上です。本日もよろしくお願いいたします。

11. 直前理事長挨拶：（加度良平）

欠席のため割愛

12. 理事長報告：（安楽城大作）

資料にて確認。

13. 委員会報告：

【社会開発室】（島田元太）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載のとおりです。

5月例会が中止となりましたが、我々の委員会の思いを伝えたいという気持ちがあり、7月の合同委員会でお時間を少し頂きたいと思っております。

本日は審議事項が1件ありますので、よろしくお願いいたします。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

9月例会と本事業について話し合っております。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載のとおりです。

本日、審議上程が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載のとおりです。

夏期講習と本事業について話し合っております。

本日、協議上程が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

先日お知らせしたとおり、7月末まで活動期間が延長しましたので、ご協力よろしくお願いいたします。

第6回理事会 議事録

委員会報告は記載のとおりです。

現在仮入会員は7名です。

本日は協議事項が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告に1件記載漏れがありました。

6月3日に福山市内でJCライフについて話し合いました。

6月例会が中止となりましたが、3回程度にわけて、話していただく予定だった内容をJCライフで発信していきたいと思います。

講師にも記事をお願いしております。

14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 持続可能な魅力あるまちづくり創造への調査・研究・実践 事業報告（案）

決算（案）に関する件

（内海洋平）

資料読み上げ（1-1、1-2、1-3）

資料参照（1-5）

続いて、収支計算明細書について差異のあった部分のみご説明いたします。

設営費支出の「iPad レンタル20台、送料」に関してですが、振込手数料を含めた値段を計上しておりました。

振込手数料は「通信費支出」として計上し直し、値段も770円であったため、差異が発生しております。

続いて「感染対策一式」ですが、予定よりもボトルの数を増やしたので差異が生じております。

次に「コーナー 備品購入」ですが、編集スペースで想定よりも距離を取った方が良いと判断し、買い足しを行ったために差異が生じました。

余剰金が7,166円となり、合計が200,000円となっております。

続いてアンケート結果に関しての考察を述べたいと思います。

アンケートの回答に関しては「1-10～1-15」をご一読下さい。

資料読み上げ（1-6、1-7、1-8）

資料参照（1-9）

次に、今後の活動指針についてですが、今回のユークチューバー体験と、開催はできませんでしたが5月例会の経験を用いて、

第6回理事会 議事録

「アクティビティ」「人と交流・繋がり」「心に残る体験」をキーワードに、地域の活気になるような事業に繋げてまいります。

「Y o u t u b eチャンネルのアナリティクス（1－16）」

「メディア掲載（1－17）」

「尾道市議会 議長への報告（1－18）」

に関してはご一読下さい。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

（小西琢真）

報告上程を作成する上で、1番印象に残ったこと、子ども達から聞いて良かったことをお聞かせ下さい。

（内海洋平）

今回議場での発言を聞いた中で「友達と何かしたい」「人と繋がりたい」という意見が予想よりも多く見られたのが印象的であり嬉しく思いました。

（山本恭平）

議場の発言に対して、行政関係の人から「これは取り組んでみたい」などの意見は出ましたでしょうか。

（内海洋平）

報告に行った際に、具体的に「こういうことに取り組んでいく」という話はありませんでしたが、子ども達に思いがあるということは感心されていました。

公園についてなどの意見を受け、コロナ禍で日々制約を受けているということも感じていただけたと思います。

また、議会を会議やコンサートなど、柔軟に使ってもらって構わないという風に言っていただきました。

（小西琢真）

Y o u t u b eチャンネルのアナリティクス（1－16）に関してですが、どのSNSからアクセスがあったかどうかはわかるのでしょうか。

（内海洋平）

どのSNSからアクセスがあったかはわかりません。

第6回理事会 議事録

自らSNSやチラシ配布等で告知を行った日に、どういう風にYouTubeチャンネルへのアクセス数が動いたかを表した表になります。

(島田昌広)

当日は2Fのゲーム体験を担当しましたが、「お菓子を積み上げる」「時間を計る」などのゲームはそのゲームの特性上仕方ないかと思いますが、子ども達が無言で行っていたのが印象的でした。

そこに関して改善点や反省点などあればお聞かせ下さい。

(内海洋平)

ご指摘の通り、もっと話しながらできれば良かったという思いはあります。

しかし、編集の段階で効果音やテロップを使い、最終的には動画として面白い物になっていたのも含めて学びになったのではないかと考えています。

(高山敦好)

「持続可能なまちづくりの一助」というキーワードに対して、本事業を振り返っての感想をお聞かせ下さい。

また、本事業で得た物をどうやって「持続可能なまちづくり」に繋げていくのかも聞かせ下さい。

(内海洋平)

「持続可能性」とは、現役世代が次世代のために行うことだと思います。

まずは意見を収集することを、この事業で行いました。

今回引き出した意見を用いて、次に繋げることを行いたいと思います。

*全会一致で承認。

第2号議案 家族会 事業報告(案) 予算(案)に関する件

(島田昌広)

資料読み上げ(2-1、2-2)

資料参照(2-4)

続いて、収支計算明細書について大きく差異のあった部分のみご説明いたします。

予算を組んだ当初は余剰金が2,604円としておりましたが、実際は29,368円となりました。

第6回理事会 議事録

まず設営費支出の「遮光シート」ですが当日雨であったため購入してないため、10,000円の差異が生じております。

続いて、企画費支出の「クレープの材料費」ですが、予算を組んだ段階では、スーパーマーケットでの価格を元にしておりましたが、桂馬蒲鉾商店の村上君が安価で仕入れてくれた物が多くあり、差異が生じております。

資料参照（2-5、2-6）

続いて、アンケートの結果については、ご一読下さい。

委員長所見としては、「3. の「主体性」のお話しは理解できましたか？」という問いに関して、「できなかった」「どちらともいえない」と解答した方に理由を記入する欄を設けるべきだったと感じております。

また、「4. どのような場面で、お子さんに「主体性」を活かしてもらいたいですか？」という問いに関して、親御さんがお子さんに求める力や、可能性について色々な考えを聞かせていただきました。

今後の事業に活かしたいと思います。

反省としては、「子ども達にこうあって欲しい」という考えに対して、「そのためには親はどうあるべきと考えるか」を知ることができるような質問があれば良かったと感じます。

子どもだけでなく、親からの目線も考えて事業を構築したいと思います。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：（安楽城大作）

第1号議案 新入会員ガイダンスの調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）について

（吉田高正）

資料読み上げ（3-1、3-2、3-3）

資料参照（3-4）

続いて予算に関してご説明いたします。

前年よりも12,908円少なく計上しておりますが、会場をロイヤルホテルから、尾道商工会議所大会議室へ変更した為です。

また、資料の数が増えたため資料作成費支出は増えております。

第6回理事会 議事録

資料参照（3－8）

続いて、アンケートに関してですが、「3. 青年会議所に入会してやってみたい事業は何ですか?」という質問を新たに加えております。

その他の資料につきましては、ご一読下さい。

細かい数字や、2月に行ったオンライン例会の記載以外は、基本的には同じ仕様となっております。

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

（安楽城大作）

私の方から1点補足ですが、緊急事態宣言の影響で、拡大活動を1か月延長して7月末までとしております。

現在は拡大活動をストップせざるを得ない状況ではありますが、6月20日以降はまた動けるようになると思います。

皆様ご協力の程、よろしくお願いいたします。

（内海洋平）

（7）に「新型コロナウイルスの影響により会場へ集まることが困難だと判断した場合には、候補者へ個別に資料を配付し、動画でガイダンスを実施します」とありますが、イメージが掴みづらいです。

当日オンラインで行うということでしょうか。

（吉田嵩正）

当日オンラインではなく、資料を送り読んでいただいた上で、ガイダンスと同様の流れで作成した動画を送り、アンケートに回答頂くことを想定しています。

（内海洋平）

動画のデータは重くなりますので、YouTubeに限定公開するなどしたほうが、よりスムーズではないかと思えます。

（高山敦好）

（5）のh.の実施手順・プログラムにある実施日時が7月9日になっていますが、間違いでしょうか。

（吉田嵩正）

第6回理事会 議事録

8月10日が正しい日付です。訂正をお願いします。

(島田昌広)

新入会員ガイダンスアンケート(3-8)の設問1と2が被る部分があるように感じます。

それぞれの質問の意図をお聞かせ下さい。

(吉田嵩正)

設問1に関しては、「パワーポイント資料」を見て生じた疑問等に関する問いになっております。

設問2に関しては、「入会にあたっての不安」を答えて頂く問いになります。

わかりにくいようでしたら、持ち帰り再度検討したいと思います。

(高山敦好)

パワーポイント資料は見ることはできますでしょうか。

また、新入会員のご家族など、集まることに関して不安がある方もおられると思います。

例えば会員にPCR検査を実施するなど、不安を取り除く方法を考えた方が良いのではないかと思います。

(吉田嵩正)

パワーポイント資料に関しては、閲覧希望の方に個別で遅らせて頂きたいと思いますので、お声かけ下さい。

(高山敦好)

次世代のためにも、上程資料の中にもパワーポイント資料を載せておいた方が良いのではないかと思います。

(吉田嵩正)

これまで新入会員ガイダンスの資料は拡大研修委員会の委員長間で引き継がれてきた経緯があり、載せておりませんでした。検討したいと思います。

(安楽城大作)

データがあれば簡単に付け加えられるので、ご検討頂ければと思います。

また、先ほど高山副委員長から「PCR検査を実施」などして、参加者のより不安を取り除く方法について検討できないかという質問がありましたが、そちらに関しても話し合ってもらえればと思います。

第6回理事会 議事録

(森川陵)

アンケートに関してですが、回収した後で1人1人個別に対応されるのでしょうか。

(吉田嵩正)

アンケートの回答に悩み等あれば、私の方で対応したいと考えております。

(森川陵)

アンケート結果は報告上程であげていただけるのでしょうか。

個人で答えるのが難しい悩みなども予想され、「会としての回答」をしなければならない事もあるかと思いますが、そういった場合はどのように対応されるのでしょうか。

(吉田嵩正)

アンケートは報告上程であげさせていただきます。

私の答えられない事に関しては、相談の上答えたいと思います。

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

第2号議案 夏期講習 事業計画(案) 予算(案)について

(山本恭平)

資料読み上げ(4-1, 4-2, 4-3)

仮入会員メンバーに対しては、拡大研修委員会からお声かけ下さい。

続いて予算についてご説明いたします。

収支予算明細書(案)をご覧ください。

資料読み上げ(4-5)

企画演出費支出の「ロープウェイ代(往復2,000円)」に関しては、30名以上の参加で1,800円になる団体割引が適用されます。

また、雑費支出の「救急セット(6グループ分)」の中身ですが、絆創膏、消毒液、包帯、包帯テープ、ガーゼ、コールドスプレー、になります。

続いて雨天時の予算について説明いたします。

収支予算明細書(案)をご覧ください。

資料読み上げ(4-11)

登山時と雨天のフットサル時では保険の金額が大きく変わっていますが、これは危険度に依じて価格設定がされているためで、こちらで差異が大きく発生しております。

第6回理事会 議事録

その他資料に関してはご一読頂ければと思います。

続いて、4-37の「夏期講習資料（参考資料）」を用いて、概要の説明をさせて頂きたいと思います。

こちらについてはより多くの皆様に内容を知って頂くために、審議可決後に配信できればと考えております。

まず、今回の夏期講習は現地集合とさせていただきます。

4-38に記載の場所へ、当日委員会単位で集合をお願いいたします。

4-39に「推奨移動ルート」を載せております。尾道から休憩無しで約2時間かかります。こちらが1番短いルートになります。

4-40に「夏期講習タイムスケジュール」を載せております。

7:30に集合して頂き、7:40~7:55の15分間に開会式を行います。

「理事長挨拶が5分」「委員長趣旨説明が2分」「夏期講習の内容説明が3分」「注意事項説明が3分」「集合写真撮影が2分」の内訳となっております。

今回はロープウェイを利用して、標高1300m付近まで登ってから登山開始となります。

ロープウェイは通常50名の定員となっておりますが、コロナウイルス感染対策で、定員が25名と半減しており、3便に分かれて乗車予定です。

第1班を基準にタイムスケジュールをご説明いたします。

ロープウェイに8:00に乗車で10分後に登山を開始し、約200分登山を行います。頂上到着が11:30を予定しており、そこで30分休憩した後、12:00から下山開始予定です。

140分かけてロープウェイ乗り場に到着し、14:30にロープウェイ下車予定です。

14:40に石鎚山を出発し、17:10に尾道着予定です。

第2班、第3班については、10分ずつ遅れてタイムスケジュールが進行していきます。尾道に到着後は、一旦各自ご自宅でシャワー浴びて貰う等していただき、19:00に再集合して頂き懇親会「居酒屋の青春」を開催したいと思います。

2日目の8月22日のタイムスケジュールに誤りがございましたので、この場を借りて訂正させていただきます。

8:50 集合。9:00~9:20 検証。9:20~9:41 発表。9:41~

9:45 副理事長謝辞。9:45~10:00 休憩。10:00~ 総会。

が正しいタイムスケジュールとなります。

第6回理事会 議事録

続いて、資料4-44をご覧ください。

図のように、各委員会に、当委員会から1人ずつサポートメンバーが入ります。体調不良等で登山の継続が難しい場合は、サポートメンバーにお声がけ頂き、下山して頂くこととなります。

その際は、ロープウェイから20分の場所にある「成就社」にて待機して頂きます。

資料4-45に詳細を載せておりますのでご覧ください。

続いて服装に関してですが、資料4-46をご覧ください。

石鎚山は足下が悪い場所もあるので、資料にあるように登山靴の着用を推奨しております。

続いて持ち物リストですが、4-47をご覧ください。

参加者全員に、「水500ml×2本」「スポーツ飲料水500ml×2本」「ウィダーインゼリー×1個」を配布しますが、それ以外の持ち物に関してはご持参下さい。

ご持参頂く物に関しては、資料のリストをご参考下さい。

事故の原因になりますので、アルコールの持ち込みはご遠慮下さい。

続いて登山道の注意箇所に関してですが、資料4-49をご覧ください。

資料記載のような場所が複数箇所ございますので、ご注意下さい。

その他資料に関してはご一読下さい。

今回の夏期講習は、体力的にも、精神的にも労力を要する研修になっておりますが、より多くの会員の皆様にご参加頂きたいので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(小西琢真)

スケジュールがタイトすぎるように感じますが、このようになった経緯を教えてください。

(山本恭平)

タイトなスケジュールに見えますが、登山に関しては通常170分程度で登れるのですが、30分余裕を見て200分の時間設定にしております。

下山に関しても、通常120分程度のところ、20分の余裕を設けており、合計で1時間程度余裕をみたスケジュールになっており、実行可能だと考えております。

第6回理事会 議事録

(小西琢真)

タイムスケジュールを見ると、登山後尾道に帰り、1回それぞれ自宅に帰った後に、懇親会に出席するようになっていますが、自宅に帰ってしまうと懇親会に出席されない方も出てくるのではないのでしょうか。

(山本恭平)

夏の登山になり汗もかきますので、一度帰宅していただきシャワーを浴びたり、リフレッシュする時間が必要だろうと予想し、このようなタイムスケジュールにしております。

(小西琢真)

シャワーを浴びるといいのは良いと思いますが、逆に気が抜けて懇親会に行く気が無くなってしまふ人もいるのではないかと思います。

何かフォローなどは考えられているのでしょうか。

(山本恭平)

その点に関しては、特にフォローは考えておりません。

(吉田嵩正)

個人的な質問になりますが、仕事終了後の参加になり遅参することになります。

遅れる場合は参加しない方が良いでしょうか。

また、何時までであれば遅参可能などのタイムリミットはありますか。

(山本恭平)

タイムスケジュール上は、最後の班が8:20までにロープウェイ乗り場に来ていただければ間に合いますが、何時頃になりそうでしょうか。

(吉田嵩正)

はっきりとした時間は読めませんが、おそらく9:00くらいになるかと思われます。

(山本恭平)

委員会で検討します。

(吉田嵩正)

私以外にも遅刻される方もいると思いますので、ご検討よろしく願いいたします。

(吉田雄太)

第6回理事会 議事録

時間については色々と話し合いました。

このタイミングで上程をさせていただいたのは、実施前に告知の時間を設け、各自で時間調整いただきたいという意図がございます。

仕事で難しい部分もあるかもしれませんが、時間はあるかと思しますので、調整できる部分はできる限りしていただき、ご参加いただけますと幸いです。

よろしく願い致します。

(安楽城大作)

仕事等で遅れてくる人も出てくるかと思しますので、対応は考えておいていただければと思います。

(中島裕一郎)

緊急事態宣言下ということもあり、弊社ではよほどの理由が無い限り他県に行くのがNGにしています。

登山をしたいというのはわかりましたが、石鎚山である理由を教えてください。

(山本恭平)

夏期講習を構築するにあたり、「全員で1つのことに取り組みたい」という気持ちがありました。

私の経験上、一緒に苦しい状況を共有した方が、より深い関係性を構築できると考えています。

それらを踏まえて考えたときに、「歩く」ということは会員の誰でも平等できることであり、「登山」であれば時間を共有でき、皆が1つの目標を持つことができると考えました。

登るのであれば、高い山を選んだ方がより充実した時間を過ごすことができ、達成感を共有できると考えました。

尾道市の鳴滝山、宮島の弥山、石鎚山を順番に登ってみたところ、他県への移動にはなっていますが、今回の夏期講習の目的を達成するには、西日本で1番高い山である、石鎚山が1番適していると判断しました。

(中島裕一郎)

登山をしたいという理由はわかりましたが、「全員で取り組む」ためには参加率も重要であると考えます。

西日本で1番高い山に登ったとしても、参加率が低いのであれば真に目的を達成したと言えるか疑問です。

第6回理事会 議事録

タイムスケジュールを見ても、移動に時間がかかり、早朝に出発する必要があるなど、参加へのハードルとなることが多いように見受けられます。

それらを踏まえ、登山する山の変更はご検討いただけないでしょうか。

(山本恭平)

小西委員長からもご指摘いただいたように、タイムスケジュール的に難しい部分もあるかもしれません。

しかし、皆さんにより柔軟にスケジュールを調整していただけるように1か月早い上程を行っております。

参加していただけるよう、なるべくご調整をお願いすることしかできませんが、参加していただけるようにご検討よろしくお願ひいたします。。

(小西琢真)

スケジュールの話ですが、早朝からの移動を経て、登山になるので、そこまででかなり体力を消耗することが予想されます。

そのまま宿泊するのであれば話は別ですが、そのまま帰宅すると言うことで、帰りの運転が安全に行えるか自信がもてません。

個人的に体力に自信が無いこともあり、そういうメンバーのことも考慮していただき、尾道からの行き帰りの大型バスを手配するなど、より安全な方法を考えてはいただけないでしょうか。

(山本恭平)

バスの手配に関しては検討しましたが、コロナウイルス対策として委員会単位で移動する方が良いだろうという判断をいたしました。

体力的に心配と言うことですが、実際に行ってみないとわからない部分はありますが、夏期講習に向けて私自身4回登山を行いました。

その際に毎回、ご高齢の方が登山しておられました。

また、先ほどもご説明したように、時間的にも約1時間の余裕をみております。

年齢的には、そこまでの心配は必要の無いルートであると考えています。

(小西琢真)

登山に関しては体力面で余裕を見てスケジュールを組んでいただいているのはわかりました。

しかし、やはりその他の部分も含めて考えるとタイトなスケジュールであるように感じます。

移動に時間と体力が取られる事が予想されるので、バスの手配を再考していただけないでしょうか。

(山本恭平)

移動に関しては、委員会で相談して前泊することも検討していただければと思います。帰りの運転に関しては、こまめな休憩や、運転交代などを行っていただき、工夫して解決していただけるのではないかと思います。

(内海洋平)

雨天中止のタイミングと判断基準をお聞かせ下さい。

(山本恭平)

開催4日前の天気予報を見て判断いたします。現地のスタッフの方にも相談し、最近は天気予報の精度も高くなっていることから1週間前の予報を見れば外れることは少ないというアドバイスを頂きましたので、4日前には判断ができると考えます。

(小西琢真)

雨天の場合フットサルを行うということですが、何故フットサルにされたのでしょうか。

(山本恭平)

雨天時の対応について話し合う中で、チームスポーツであり、万人で行えるという理由でフットサルを選びました。

(安楽城大作)

質問内容が「やるか、やらないか」という内容が多いように感じますが、現段階では実施時にどういう状況になっているかわかりません。あがってきた上程に対して「どうやれば実現できるか」という質問がより参考になるかと思えます。

(小西琢真)

実現に向けて考えたときに、やはりバスがあった方が良いと感じます。予算的に難しいのでしょうか。コロナウイルス対策的に難しいのでしょうか。

(山本恭平)

第6回理事会 議事録

予算的にも、コロナウイルス対策的にも、委員会で相談して、難しいという判断になりました。

(中島裕一郎)

意見になりますが、事業の内容自体は問題無いと感じますが、近隣でなく他県に行く理由を委員会メンバーに説明できる理由が何かあれば助かります。

参考にしていただければ幸いです。

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行)

6月4日の金曜日に、広島ブロックより活動環境に関するアンケートを配信しております。

14日が締め切りとなりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

17. 連絡事項：(加藤雄大)

次回上程締め切りは6月21日(月)の17:00までとさせていただきます。

18. 監事講評：

(今岡正英)

皆様、お疲れ様でした。

本日の理事会では、特に最後の山本委員長の夏期講習に対して色々な意見が出ていました。様々な意見があり、賛否両論あって然るべきかとは思いますが、山本委員長はそういった反対意見も予想され、踏まえた上で、過去の資料等も参考にして、上程されているだろうと思います。

この場では色々な意見を出すのは良いことだとは思いますが、できる限り協力し、実現に向けて考えていくのが1番良いと思います。

理事会は物事を決める場であるので、決めたことはきちんと実行できるようにしていただきたいと思います。

また、コロナ禍で活動ができない期間が続きます。

この期間が明けたときに何をするのかを練ることができる良い時間にできると思いますので、前向きな時間にしていただきたいと思います。

以上、簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。

19. 次回開催日の確認：(歌一行)

7月6日(火) 19:00より 国際ホテルにて

20.閉会：（歌一行）

21. 点 鐘：（安楽城大作）